

◆ 平成 20 年度（前期）県立広島大学 学部・学科・研究科（専攻）等による FD 活動（教育改善）計画一覧

実施主体	コーディネーター	日・時	実施場所	実施内容
人間文化学部 健康科学科	学科長： 三浦 朗 学科 FD 委員： 岩本 珠美 菅原 芳明	4月1日～4月30日	特に定めない	1) 実施目的 学科における「教育改善」を目的として、2007年度後期「学生による授業評価」に対する担当教員コメントの集計結果について、学科教員全員で共有化すると共に、平成20年度「第1回学科FD研修会」とする。学科全教員が参加して行なうものである。 2) 実施内容 ・教員個々の授業改善への努力とその集合体・総体としての学科の改善努力は、正に、森を構成する個々の“木々”と“森”自身との関係に似ている。 ・このことに思いをはせつつ、学科教員個々の授業改善に向けた努力を下敷きに、学科全体・総体の視点で今回の「集計結果」を見比べることにする。 ・そしてそこから、今後の「学科の行く末（授業改善との視点での）」を展望する。 ・併せて、上記に関わる教員個々の感想・見解・意見を集約し、それらを再度学科教員全員で共有化する。 ・以上を平成20年度「第1回学科FD研修会」の内容とすることにより、次年度の授業改善の実を挙げる。
保健福祉学部 看護学科	学科 FD 委員： 松森 直美	8月～10月（予定）	4102 （地域連携 センター）他	1) 実施目的 高等教育としての看護教育の位置づけを再認識し、専門職業人を育成する上での専門性を高めると同時に、学生のコミュニケーション能力を育成するための教育力の向上と、医療倫理の中でも特に看護倫理について焦点を絞り、学生にいかに関与していくかを検討することが必要である。 2) 実施内容 ①高等教育としての看護教育の意義と課題 ②ソーシャル・スキル・トレーニング（SST）講座 ③看護倫理の教授法に関する研修（講義と実習にどこまでどのように看護倫理の内容を取り入れ教授するか）
保健福祉学部 理学療法学科	学科長： 清水 ミシェル・アイズマン	①8月18日 ②毎週水曜日学科会議時 ③毎月第2水曜日	2416 会議室	1) 実施目的 ①基礎臨床実習Ⅰに対する臨床実習指導者会議（見学主体の実習のあり方を再検討するため） ②学科会議内学生支援に関する検討会（学科全体で学生を支援するため） ③学科勉強会開催（教員の学術的な活発な意見交換の場とする） 2) 実施内容 ①見学主体の基礎臨床実習指導者と教員との意見交換 ②問題のある学生に対する支援方法を学科全体で検討する ③抄読会や研究紹介、研修会の伝達講習などテーマは自由とし、教員間で討論する機会を設ける。学部内に参加者を募る。

<p>保健福祉学部 作業療法学科</p>	<p>近藤 敏 田端 幸枝</p>	<p>①③④情報の共有化や学生指導の検討 ：月2回の学科会議 ②教育の質の向上を図るための学科FDの講演会 ：原則年2回 (前後期各1回)以上 第1回7月23日 第2回3月25日 12:30-13:30 予定 その他の専門知識及び技術の向上を図るための伝達講習会等 ：学科会議で随時実施</p>	<p>2416 会議室</p>	<p>1) 実施目的 作業療法学科教員のFD活動に対する理解を増し、重要性の認識をより深める。そして、本活動により教員間の教育に関する情報の共有化を推進、教育の質の組織的向上を図る。 2) 実施内容 ①情報の共有(学生に関する情報、作業療法教育に関する情報、等) ②教育の質の組織的向上(学科としてのFD活動、等) ③丁寧な学生指導1:初年次教育(学生の生徒化への対策、等) ④丁寧な学生指導2:国家試験対策(不合格者への指導、受験者への指導、等)</p>
<p>保健福祉学部 コミュニケーション障害学科</p>	<p>吉畑 博代</p>	<p>①5~6月頃に実施予定 ②秋ごろに実施予定 ③年度を通じて実施予定</p>	<p>1309 講義室 4511 大学院 セミナー室 4103 講義室</p>	<p>1) 実施目的 コミュニケーション障害学科学生への講義の質を高め、講義内容を充実させるための工夫を行い、教員間で有用な情報を共有する。 2) 実施内容 ①ST養成校教員連絡協議会研修会報告(テーマ:学内における臨床能力の評価)を実施する。 ②カウンセリングマインドやストレスマネジメントについて、学習する。 ③現代GP委員のGP活動と評価委員会の評価、チューターの学生への面接、実習(学内・学外)指導を継続する。</p>
<p>保健福祉学部 人間福祉学科</p>	<p>三原 博光</p>	<p>①4月26日 ②9月14日~9月25日</p>	<p>①保健福祉学部 三原キャンパス ②ドイツ (アーヘン, ケルン, ミュンヘン)</p>	<p>1) 実施目的 保健福祉学部の現代GP活動に積極的に参加することで、学生及び教員のFD能力を高めることを目的とする。また、国際社会福祉の認識を学生に養成するために、ドイツの医療・福祉施設を訪問する。 ①三原市在住の障害者とその家族との交流会—ビーチバレーボールと食事を通して—(障害者及びその家族約40名、人間福祉学科学生60名ボランティア参加予定) ②ドイツ医療福祉研修旅行 (特別養護老人ホーム、障害者施設、保育所、精神病院、アーヘン大学など)</p>